

上 京

史蹟と文化

美を語る

《二月乃頃》村上華岳の芸術

忘れられない風景は誰の記憶にもあります。私のそれは、吉田山（神楽岡）の東麓から東山連山を真向いに眺める風景でした。如意ヶ嶽を主峰に、北は比叡山の峽から、稻荷山に至る連峰です。吉田山の東麓では、比叡山も見えず、如意ヶ嶽も見えません。前方の山が邪魔しているのです。その前面に白川の扇状地が広がり、藪や田畑やこんもりした木立が点在しています。それは飽くまで、幼い私の記憶の風景ですが、今は人家や中小のビルが、風景を埋めているでしょう。この猫の額のような盆地は浄土寺と呼ばれ、長い年月、その通称で呼ばれてきました。

《二月乃頃》は村上華岳（一八八八—一九三九）が京都市立絵画専門学校の卒業制作として描いた作品です。同校の作品展では一席を受賞しました。この卒業制作展は明治四十四（一九一）年の三月末に開催されましたが、四月開催の第十六回新古美術品展にも同じ作品を出品、二等賞を受賞しています。さらに、秋十月の第五回文展（文部省美術展覧会）にも出品して褒状を受賞しています。最近では、同じ作品をさまざまな展覧会に出品することは禁じられていますが、明治期の展覧会事情は、かなりルーズ且つ寛大だったようです。

《二月乃頃》は吉田山の東北端からの写生に基づいて描かれました。京都では殆ど知られていない場所ですが、第三高等学校や京都大学で青春を送った若者たち、戦中・戦後、公立小・中学校に通った子どもたちなら、



村上華岳 二月乃頃 1911年 京都市立芸術大学芸術資料館蔵



美術史家

加藤 類子

記憶があるでしょう。地味ながら春には疏水辺りに桜が咲き、夏には赤松の疎林に緑の木々や竹藪が美しく、秋には東山の山腹から比叡山にかけて、遅い櫛もみじが染めます。白じらとした冬景色も、芽吹き of 胎動を想わせて、

光に満ちた世界でした。

村上華岳はなぜこの風景を描いたのでしょうか。洋画家浅井忠あらいちゅうの関西美術院も近く、賀茂川の本立ちや東山、比叡山などを水彩で描いていましたので、それがヒントになったのかもしれませんが。しかし、本当の理由は、華岳が通学していた京都市立絵画専門学校が、当時は、東大路・東一条の西方（吉田阿達町）にあったことでした。華岳らにとっては、吉田山は日頃、スケッチや写生に訪れていた所なのです。樹木が剪定され、堂舎も整備されて、生活の山として、人々の立入りは頻繁でした。華岳はこの風景を比較の早



村上華岳 夜桜之図 1914年 京都国立近代美術館蔵

く仕上げたようで、卒業制作と近い時期だと思っています。はじめ、『早春』と題して、卒業展、新古美術品展に出品したものでした。第五回文展の際には、『二月乃頃』と題して出品しました。もう、現在はすっかり変わっていますが、私の記憶にある風景とは、少し違っています。東に真直ぐ辿る道は、恐らく現在、今出川通の一筋南を通っている旧道です。白川はくせん女を出す白い壁の農家の集落が見え、その奥は恐らく銀閣寺（慈照寺）でしょう。左手の高い白い崖は石切場でしたが、取り尽くされて、現在採石は殆ど行われていません。手前の数は、橋本関雪が『白沙邨莊』と呼ぶ画室を建てた辺りです。左側の直線的な水路は新たに開削された疏水分線と思われ、華岳の忠実な写生と手前の農耕図の伝統的な図様とがアンバランスを成しています。墨による描写を基調として、緑青、胡粉、黄土をわずかながら用いています。

村上華岳は京都市立絵画専門学校に入学する以前は、京都市立美術工業学校に学んでいました。同校は絵画（日本画）のみならず、図案、漆芸、陶芸、仏具を生業とする子弟も学んでいました。彼等は芸術と言つより技術を叩き込まれました。膠にかわの炊き方、溶き方、胡粉の溶き方、石膏の抜き方などの基礎技術と、デザインの必要上、日本画も学びました。工芸を主体としたこの学校で学んだ生徒達は、当然のこととして、大人びた絵を描きました。

村上華岳の絵画専門学校の同級生は十人余りでした。入江波光、榊原雨村、榊原紫峰、松宮左京、星野空外、小野竹橋（のちに竹喬）、土田麦僊、野長瀬晩花、青山翠光等です。若い彼等は制作の上でも貪欲でした。彼等は研究熱心な上、強い触媒として、東京帝国大学文学部出身の中井宗太郎の講義を受けていました。中井は帝大卒業後、大学院を経て、新設の京都市立絵画専門学校に赴任して来たのでした。ゴシック美術、ルネッサンス、印象派に及び西洋美術。天平時代から桃山期障屏画、桃山・江戸初期風俗画等々、日本美術も熱烈に語りました。技術を叩き込まれた学生達は、その講義に新鮮な眼差しを注ぎました。円山・四条派の作風一方の彼等の制作

の変わってきたのは、当然の結果でした。華岳の出品した同じ卒業制作には、麦僂が初期浮世絵でしばしば見られる裸婦の半身像《髪》を発表し、そのエロティシズムで睥睨^{ぞうごく}されました。竹喬はセザンヌの世界を模した風景画、波光は江戸初期浮世絵の世界への憧れを表しました。

《二月乃頃》の制作から三年後、村上華岳は京都市立絵画専門学校研究科を卒業しました。前年七月明治天皇が崩御、大正と改元されました。四月には全国美術工芸品博覧会（京都 勧業館）に《夜桜之図》を出品しました。この作品は三尺巾の絹を真中で接いだ額装でしたが、現在は二曲一隻の屏



入江波光 振袖火事 1913年 京都国立近代美術館蔵

風となっています。華岳は「平野の夜桜だ。」と言っていたそうです。背の低い八重桜の下、ぼんぼりの明かりが乱立して、手前には緋の毛氈が敷かれ、宴は、^{たなわ} 賑わいの様子。酩酊して横たわっている人も見られます。中景は着流しの男、襟掛けをした普段着の女などがそぞろ歩きをしています。賑やかな風景ですが、音曲の音が聴こえず、しんとしています。人々も仮面のように、人形浄瑠璃の人形を想わせます。浮世絵の世界を再現しているのでしょうか。華岳特有の官能的な画面です。平野神社は今日でも桜の名所です。多種の桜が開花し、多くの人々はどっと集まり、昼も夜も観桜を楽しみます。近くに北野天満宮、金閣寺等の名所があり、江戸時代以前から、庶民の遊興の場でした。《夜桜之図》の描かれたのは、大正三（一九一四）年。僅か二十六歳の青年の作品としては、いささか早熟と思われます。大阪生まれの華岳は、人形浄瑠璃に若くから魅了され、京の外縁である大阪の自由さを満喫しました。華岳の作品にある多くの人形の描写からは、大阪独特の官能と頹廃を感じます。大阪に較べれば、京はややアカデミックです。それは、華岳と波光の差でもあります。同じ浮世絵の世界を引用した華岳の《夜桜之図》と波光の《振袖火事》（大正二（一九一三）年）を較べると、その差は歴然とします。

その彼等の結成したのは、国画創作協会でした。大正七（一九一八）年一月のことでした。会員は小野竹喬、土田麦僂、村上華岳、野長瀬晩花、柊原紫峰の五人。入江波光は公募入選し、翌年に会員に推挙されました。展覧会は公募制で、東京・白木屋で開催されました。展覧会は好評で多くの観客を集めました。回を重ねるうちに、先ず華岳が脱落し、波光も紫峰も出品しなくなりました。国画創作協会は昭和三（一九二八）年に第七回展を開いた後、日本画部は解散しました。華岳はその後神戸の花隈に隠棲し、六甲の山容や仏画を描きつづけました。昭和十四（一九三九）年十一月、持病の喘息発作で急逝しました。享年五十二歳でした。

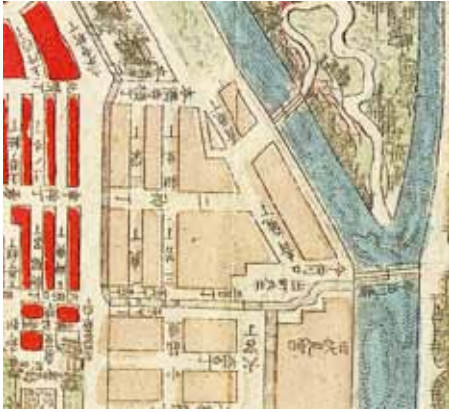
ぶらり 上京

その二 出町・枿形

現在の河原町今出川の北部一帯

を「出町」とか「枿形」と呼んできました。かつてここは洛中と洛外を結ぶ交易の接点で、江戸時代には鴨川の西岸に沿って御土居が築かれ、洛中と洛外を分けていたのです。豊臣秀吉が天下統一を成し遂げたあと、外敵を阻止し、さらに鴨川と紙屋川の水害から護るために、洛中の市街地を囲む長大な堤防を築きました。これが御土居です。そこに日本の中心地である京都に集まって来る街道の出入口として通り口を設けたのが七口ななぐちです。

ここは大原口と呼ばれ、高野川沿いに高野・八瀬・大原を経て山あいを若狭へと続く交通路でした。起点は現在の寺町今出川で、



明治 11 年の地図

東北角に立つ慶応四（一八六八）年銘の大きな道標（京都市登録史跡）が、その生き証人といえます。今では拡幅された河原町通と今出川通から昔の姿を想像することはできませんが、古地図を見ると面影が浮かんできます。

街の変貌のきっかけは、電車の開通によるものと考えてよいで

しょう。明治二十八年の平安奠都千百年を記念して、それまで畠地であった岡崎の地が第四回内国産業博覧会の会場となり、京都駅（七条ステーション）から高瀬川沿いの木屋町を北上し、二条通を東行して博覧会場までの輸送機関として電車の線路が敷設されます。琵琶湖疏水の水力発電を活用してエレキ（電気）で動く車輛をはじめ、これまで見たこともない銅の架線や鉄のレールに京都の町衆は目を見張ったのでした。

賀茂川と高野川の合流点であるこのあたりは水害の危険性が高いために、御土居の一角を四角形にして、そこへ出入口を設けました。これを「枿形」といいます。近



賀茂大橋から二川合流点

世城郭にも設けられていた防禦施設です。その名称が御土居の廃絶したあとに残り、今の出町櫛形商店街になりました。同時にここは御土居の内側から一步外へ出たところという意味で出町と呼んだのです。

今、京阪電車や叡山電車の始発駅を「出町柳」というのは、川より西の出町と東の地名を合わせたものです。古くから川沿いには柳が植わっていたので、大正六年に京都市に編入されるまでは愛宕郡田中村字上柳・下柳といわれ、今も田中上柳町・下柳町の地名を残しています。



出町櫛形商店街

明治末から大正期の京都の市街電車は明治二十八年に開業した京都電気鉄道と、明治四十五年京都市が創業した市営電車が競合していました。前者は、明治五年にイギリスから輸入した蒸気機関車のレール幅である三フィート六センチ（一〇六七ミリメートル）で、狭軌と呼ばれ、現在もJR（旧国鉄）の在来線に受け継がれています。一方、京都市が採用したのは軌間が四フィート八インチ半（一四三五ミリメートル）で、標準軌と呼んでおり、多くの私鉄や市街電車、JRの新幹線で使われています。

したがって京都市内には二系列の市街電車が走り、二重の通行税や料金の均一化が問題となって大正天皇の御大典を期に統合の方向性が示され、大正七年になって京都市が京電を買収します。そして二種の軌間が混在していたのを狭軌を廃止したり標準軌に

拡張したりしました。寺町通を丸太町から今出川まで北上し、さらに今出川通を東行して、河原町今出川から河原町通を少し北、青竜町まで走っていた狭軌単線の電車も大正十三年で廃止されました。

現在この付近には、わずか三百メートル程のところに大きな橋が四つも架かっています。しかし昔は長い木橋が一本あっただけです。この地点は賀茂川と高野川が合流して鴨川になるところですから橋が多いのも当然のことでしょうが、一本の橋が四本にもなったのは付近にできた新しい道路によるものです。川の合流点は運ばれてきた土砂によって三角形の剣先になり下流へと伸びて行くのですが、ここでもその現象が起きました。現在の京都家庭裁判所から葵公園にかけての土地がそれです。今、剣先を挟んで賀茂川の出町橋と高野川の河合橋の架かっているところは合流するまえの鴨川で、櫛形から対岸の田中村まで一本の

お葬式、家族葬は

 **公益社**

本社 / 京都市中京区烏丸通六角上ル

☎ 0120-004-200

公益社 京都

検索

ブライトホール

北ブライトホール	[堀川紫明]
中央ブライトホール	[五条東山]
南ブライトホール	[油小路八条]
西ブライトホール	[五条西大路]
山科ブライトホール	[五条外環]
烏丸ブライトホール	[烏丸高辻]
宇治ブライトホール	[宇治檜島]
大津ブライトホール	[大津駅南]

長い出町橋でした。その様子は洋画家の伊藤快彦の風景画にも描かれています。この橋の東詰は白川街道（志賀越）につながり、現在の今出川通の北側に残る旧今出川通です。古い街道は直線ではなく、必ず少し曲がりくねって歩いて行くうちに退屈しないようになっていくのです。この道はその代表的な例といえます。そして山中越につながります。

昭和六年に新しい今出川通が開通し、電車が敷設されて賀茂大橋



妙音弁財天

が架かり、主要道路化します。一方、河原町通も北へ延長され、下鴨神社の社家町を貫く電車の敷設を想定した新道が開かれ下鴨本通となりますが、戦時中であつたために仮橋が架けられていました。昭和三十一年になって河原町今出川から北大路（洛北高校前）まで待望の電車が走ることになり、ここでやっと永久橋が架けられることとなりますが、当時の京都市の財政事情から軌道の部分だけ先行して開通し、両側の車道と歩道が広げられて一人前の橋となったこ



出町橋鯖街道口の碑

とを思い出します。

出町橋の西詰には妙音弁財天があり、江戸時代のこのあたりは伏見宮邸でした。六角堂には伏見宮家に伝えられた弘法大師筆という妙音弁財天の画像が祀られています。明治三十四年に地元の要請によって現在地に戻され庶民の信仰の対象となり今に至っています。桝形商店街の路面には、小学生の描いた魚の絵が歩道タイルとして敷かれ、若狭からはるばる塩漬けにした鯖を運んで来た「鯖街道」の終点を示しています。



魚の歩道タイル

（出雲路 敬直）

西京白味噌。

本田味噌本店
京都府上京区東町一丁目五五八

<http://www.honda-miso.co.jp>

香木・薫香・匂香

山田松香木店

〒602-8014
京都府京都市上京区御所中町164
(宣明通下立売上ル)
TEL 075 4414694
FAX 075 441124

応仁の乱と御霊祭

京都産業大学 日本文化研究所
 席特別客員研究員 小嶋 一郎



御霊祭の神輿渡御（冷泉家門前）



御霊神社のイチハツ

今年「応仁の乱」が勃発して五五〇年の節目の年です。室町幕府の將軍繼嗣問題が管領家かんれいの御家騒動や政治の主導権争いと複雑に絡んで始まった合戦は、文正二（応仁元）年一月十八日に畠山義就よしなりが従兄弟の畠山政長を攻撃したことに端を発しました。その折畠山

政長が自邸から出て、防衛拠点に選んだのが御霊の森（林）でした。南に相国寺の藪や濠、西に細川一族の屋敷があったことから、守るに適していると踏んだのでしょう。

山名方（西軍）の援軍を得た畠山義就に対し、細川方（東軍）は幕府から畠山家の内紛に関与するなど沙汰があつたため動けず、細川勝元からの援軍を期待していた畠山政長軍はわずか一日で敗走しました。そのおり御霊社の社殿も木々も燃え盛り、大きな被害を受けました。

御霊というのは、尊い方

の怨霊という意味で使われることが多く、全国各地に存在する御霊神社には、無実の罪をきせられた方や政争に敗れた方、陰謀により都から追われた方など、この世に恨みを残して亡くなった方々の霊を祀っているのです。京都市中には御霊神社（上御霊神社）と下御



御霊祭 牛車の列

霊神社が存在し、創建当初はそれぞれ上出雲寺と下出雲寺の鎮守としてお寺と共存していました。現在両社の境内地は上京区の北と南に離れていますが、創建当初は「上社」と「下社」はご近所でした。どちらの御霊神社にも多くの御霊となった方々が神として祀られて

いますが、両神社に共通で祀られている御方も多く、中でも有名なのは「早良親王」です。都がまだ長岡京だった頃、藤原種継暗殺事件の容疑をかけられ、乙訓寺で幽閉された後、淡路に流される時、無実を晴らすために断食したこと



新村出 歌碑 (御霊神社境内)



松尾芭蕉 句碑 (御霊神社境内)

で死に至ったとされる不運の皇太弟です。その方の御霊が長岡京の桓武天皇の周囲に災いをもたらしたと考えられたことから、兄である桓武天皇が平安京に遷^{うつ}られて後、懇^{ねん}ろに祀られたのが御霊神社の始まりでした。ですので、創建の歴史はほぼ平安京と同じなのです。千二百年の歴史を見つめてきた御霊神社ですが、守護大名の家督相続に端を発した十一年間に及ぶ内戦が上御霊社で勃発。しかし乱の終息後、上御霊社は皇室・公家からの援助も受け、氏子達の努力により、徐々に復興していきました。江戸時代の元禄三(一六九〇)年には松尾芭蕉も訪れ「半日は神を友にや年忘」と、御霊の社でゆっくりと師走の半日を過ごした光景が目に浮かびます。おそらく神職や氏子達と簡単な句会を開いたので



御霊神社 拝殿

はないでしょうか。そして時代は昭和になり、広辞苑の編集者である新村出博士が、自宅の近いこともあり、氏子のおひとりとして境内をよく訪れたそうです。西門からの参道脇には博士が昭和三十一年(一九五六)年に詠んだ歌の碑も建てられました。「千早振^{ちはやぶる}神のみめぐみ深くして 八十ちに満つる幸を得にけり」。御霊神社は



www.toraya-group.co.jp



京都に生まれて五世紀



金曜・土曜は
4:00pmから開催!!

Every Day 5:00~7:00pm

HAPPY HOUR

40%OFF

毎日17~19時はお酒が4割引!!ホテルバーのハッピーアワー!!
1F ライブラリーラウンジ・バー「ヘイヴン」では、
毎日17~19時はボトル、企画商品およびソフトドリンクを除く、
アルコールドリンクを40%OFFでお楽しみいただけます。
この機会にホテルバーをお気軽にご利用ください。

※一部適用除外期間がございます。

ライブラリーラウンジ・バー「ヘイヴン」 Tel.075-223-8974 (直通)

地下鉄京都市役所前駅から徒歩で約1分

 **京都ロイヤルホテル & スパ**

激動の歴史にさらされながらも、平和な時代には文人や学者・氏子など、多くの人達に愛される産土神として今に至っているのです。平和になった現代に御霊神社の歴史を髣髴とさせてくれる祭礼があります。桜の季節も終わり、初夏の便りが聞かれる頃になりますと、境内やその周囲の堀には「イチハツ」が一斉に咲き誇り、五月一日には「御霊祭 社頭の儀」。そしてそのイチハツが順々に咲いて、やがて盛りを過ぎる頃、五月



病院内 神輿渡御（京都府立医科大学附属病院）

十八日には「御霊祭 渡御の儀」が盛大に催されます。後者の祭礼では、神輿や牛車、剣鉾に稚児・八乙女ら大勢の行列が繰り出します。そので、初夏を彩る盛大な行列で、賀茂祭（葵祭）と並ぶ壮麗な祭礼といえるでしょう。

その御霊祭の御所巡幸が平成二十一年、一四〇年ぶりに復活し、人々の注目を集めました。そして昨年、新たに巡幸沿道の清浄華院では古伝によって神供の儀が行われ、神仏習合の頃に思いを馳せるとともに、同じく京都府立医科大学附属病院でも神輿の巡幸が行われ、小栗栖元徳宮司の「もともと御霊会というのは病気を鎮めることが目的であったので病院への神輿のお渡りは本来の意味に通じる。」という言葉に目から鱗の思い。実際に私も五月十八日夕刻、府立医大病院での歴史的場面に立ち会ってきました。事前に院内では、御霊祭の神輿がお渡りになるという情報が行き渡っていたとはいえ、入院中の患者さんや病院職員の方が大勢、神輿のお渡りの様

子や勇壮な差し上げや廻しを、固唾を呑んで見守っていたら、いきましたし、点滴治療のまま車椅子で駆け付けた方も、真剣な眼差しで見つめておられ、帰り際に「これで充分に元気を貰ったから、明日からの抗癌剤治療もまた頑張れるわ。」と呟く患者さんも居て、応仁の乱で傷ついた人達も、きつと神仏に祈りを捧げたことだろうと思うと、今も昔も変わらない神と人との関わりあいを感じる初夏の夕暮れでした。



御霊祭 神供（清浄華院 門前）

柔道圓心道場

〒602-0014
京都市上京区室町通寺之内上ノ下柳原北半町 210
TEL (075) 441-1968 / FAX (075) 441-2972

山崎接骨院

〒602-0898
京都市上京区烏丸通寺之内西上ノ相国寺西門前町 647
TEL (075) 451-6050 / FAX (075) 451-6051
<http://www.enshin.sakura.ne.jp/>

新・古茶道美術品

清昌堂 やました

京都店・京都市上京区小川通寺ノ内上ノ

〒602-0061 TEL (075) 431-1366

FAX (075) 431-1370

東京店・東京都新宿区市谷甲良町1-8

〒162-0856 TEL (03) 5261-4566

FAX (03) 3235-5677

源頼政の鶴退治ねえ

「鳴くよ（七九四年）うぐいす

平安京」から「良い国（一一九二年）作ると鎌倉幕府」、そして「人よむな（一四六七年）しく応仁の乱」など、語呂合わせで日本史を覚え込んだ学生時代の記憶がある。当時は、七九四年から一一九二年までを平安時代と呼んで疑わなかったが、近年の歴史書では、鎌倉幕府が朝廷から守護・地頭設置権を認められた一一八五年を鎌倉時代の始まりとする説が有力なようだ。そのような時代―源平が台頭して朝廷を巻き込みながら天下を伺った平安末期、異母兄崇徳天皇（一一一九～一四四）の譲位を受け、満三歳になる前に即位した近衛天皇（一一三九～一五五）を悩ませた妖怪にま

つわる話が今に伝わる。

黒雲湧き清涼殿を覆う

近衛天皇は十二歳で元服後、皇



鶴大明神（智恵光通丸太町下ル主税町、二条児童公園内）

頃、東三条の方から黒雲が湧き出でて清涼殿を覆うと、ひどくうなされ、怯え悩まれる夜が続いて止むことがなかった。

どうやら妖怪の仕業らしい。殿上公卿たちは協議を重ね、京の高僧や修験者を召し出して加持祈祷を施させたが、何の効き目もない。

近衛天皇の祖父にあたる堀河天皇（一一〇七～一一一七）も同じように苦しみ、気絶を繰り返したことがあった。その時は源氏の武

将源義家（一一〇三～一一一六）が紫宸殿の広縁に待機して、丑の刻になると、「我こそは前の陸奥守八幡太郎、源の義家である」と周りの者が身震いするような大声を張り上げ「三度の鳴弦」を行うと、邪気が払われ、天皇も回復した。

この例に倣って武士に警護させることにして、公卿補佐源雅頼（一一二七～一三〇）の推挙により、源平両家の中から弓矢の名手源頼政（一一〇四～一三八〇）を召し出した。

後に従三位に叙せられ、以仁王



紀元前3000年頃。パンのシンボルが描かれ、食料配給の割り当てが記録されている。

和光印刷株式会社

〒602-0012 京都・烏丸通上御霊前上ル TEL.075-441-5408代
E-mail:info@wako-print.co.jp

京都人さえもが恋するホテル。

BRIGHTON KYOTO

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売（御所西）
TEL.075-441-4411 (代) FAX.075-431-2360
<http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto/>



鵜池（二条児童公園内）

噂の妖怪一の矢で退治

（二一五―一八〇）に平氏打倒の拳兵・武装蜂起を促したものの敗北し、宇治平等院で自刃する頼政だが、当時は兵庫頭（従五位上相当）の職にあり、昇殿が許される身分ではなかった。「昔から朝廷に武士を置くのは、反逆の者を退け、勅命に逆らう輩を滅ぼすためである。目にも見えない変化の物を退治せよと言われても承ることは出来ない」と言ったものの勅命には従わざるを得ず、信頼する家臣の猪早太ただ一人を伴って大内守護のため参内した。

四月半ばのある深夜、頼政が重藤の弓と山鳥の尾の毛で矧ぎ鋭く尖った二筋の矢を持ち、近衛天皇の寝所に隣接する紫宸殿の側に身を潜めていると、黒雲が一面に立ち込め、妖しい鳴き声がこだました。「これぞ噂の妖怪に違いはない」。南無八幡大菩薩と祈念して黒雲をめぐり、ひようと一の矢を放った。頼政が「得たりや、おう」と雄叫びをあげる間もなく、庭先に奇妙な声を張り上げて妖怪が落ちて来た。早太が素早く駆け寄り、拳も刀も胴を貫けとばかり九回立て続けに差し抜いて、これを仕留めた。舎人たちが松明を手にくわえ、妖怪を照らし出すと、頭はサル、胴はタヌキ、手足はトラ、尾は蛇で、鳴き喘ぐ声は鵜に似ている怪鳥だった。

大臣藤原頼長（一一二〇―一五六）に託した。頼長が頼政に剣を与えようとしたその時、ホトトギスが二、三声鳴きながら雲の間を飛びぬけて行った。頼長がとつさにほととぎす名をも雲井にあぐるかなと上の句を詠むと、頼政は弓はり月の射るにまかせてと下の句を続けて剣を賜り退出した。このやり取りを聞いた公家や武士たちで「頼政は武芸だけでなく、歌道にも優れている」と感心しない者はいなかった。その妖怪はうつぼ舟で流されたという。

雨の中で鵜を射た頼政

近衛天皇の甥に当たる二条天皇（一二四三―一六五）にも同様の話が伝わる。怪鳥の鵜が禁中の空を飛び回り天皇を悩ませる夜が続き、再び頼政が呼び出された。鵜は一声鳴くだけなので、頼政は一の矢に大きな鎗矢を天高く放ち、驚いた鵜が大きく「ヒヒ」と叫んだと



大本山相国寺

TEL (075) 231-0301

承天閣美術館

TEL (075) 241-0423

〒602-0898

京都市上京区

相国寺門前町701

<http://www.shokoku-ji.jp>



元祖

畑かく

ぼたん鍋と京料理

京・上御霊前烏丸西

☎075・44・0610(代)



ころに、二の矢の小さな鎬矢を放ち射落とすことが出来た。

天皇は大いに感心され、褒美に御衣を下賜するため、大炊御門の右大臣徳大寺公能（一一一五～六一）を遣わせた。公能は「昔の養由（※一）は雲の上の雁を射た。今の頼政は雨の中で鶴を射た」と感心して、

五月闇名をあらはせる今宵かなと仰せになると、頼政は、

たそかれどきも過ぎぬと思ふに



神明神社（下京区綾小路通東洞院東入ル神明町）
に奉納の「鶴退治」絵馬

と付け、御衣を肩にかけて退出したという。

わが身は暗黒の世界に

このように「平家物語」に記された源頼政の妖怪退治だが、これだけでは終わらない。

謡曲「鶴」によると、ある旅僧が摂津国芦屋の御堂に一夜の宿を求めたところ、異様な姿の舟人がうつぼ舟に乗って現れた。僧が舟人に「人間ではあるまい、名は」と問いかけると「自分は鶴の亡霊である」と明かして、頼政に射抜かれた顛末（顛末）を語り消えて行った。

僧は里人たちから、都から流されてきた鶴がしばらくこの地に滞留していたと聞いて霊を弔っていると、再び鶴の亡霊が姿を現した。わが身への供養に感謝するとともに、名をあげた頼政に比べて、わが身は暗黒の世界に沈められていると嘆き、「山の端の月に闇を照らせよ」と願いながら闇の波間へと沈んで行くのだった。

鶴に似た声の妖怪とは

鶴は現在ではトラツグミとされる。この鳥の寂しげな鳴き声は当時の人々には不吉に聞こえて凶鳥と嫌われ、天皇や貴族たちは鳴き声が聞こえると大事が起きないよう祈禱したという。

「平家物語」によると、近衛天皇の時射たのは、「鶴に似た声の妖怪」で、死骸はうつぼ舟で流されたため、骨や毛皮は残っていない（ことになっている）。

約十年後、二条天皇の時は「鶴と鶴を並べて前にぞ落としたる」と記されているが、近衛天皇を悩ませたのが同様に鶴だとすると、うつぼ舟で流された死骸がリベンジしたのか、あるいは鶴に一族がいたことになってしまう。

二条城の北西にある児童公園の北西隅に小さな社があり、「鶴大明神」と呼ばれる。その南側に近年改修された「鶴池」が広がり側らに「鶴池碑」が建つ。長年月を経

て碑文は読みようもないが、「この池は源三位頼政が鶴を射とめた時、血の付いた鏃（やじり）を洗ったところの池と伝える」云々と記されているそう。

ちなみに辺り一帯は平安京大内裏の東南部に当たり、近衛天皇の里内裏があつたとしても不思議ではない。

考えとぬえのように

平安時代の末期、保元・平治の乱を経て、世は公家から武家社会へと移りゆく。その時代に天皇の地位にあった堀河、近衛、二条の三人が妖怪、鶴に悩まされたと伝わるのは、いずれも若くして崩御されたことと関係があるのだろうか。考えるほどに「ぬえのような話（※二）」になって、とどまるどころがない。

（福井 和雄）

（※一）養由基は、春秋時代の楚の武將。弓の名人として知られる。

（※二）性格や本性が（つかみどころのない、とらえどころのない、のらくらしているなどして）分かりにくいことをいう。



「上京区民ふれあいまつり2016」が、昨年10月30日に北総合支援学校で開催されました。晴天のもと大勢の参加者が会場に詰めかけ、子どもからお年寄りまでふれあいの輪が広がりました。



区役所庁舎前に並ぶプランターに季節の草花が植えられ、ボランティアの皆さんが毎日手入れをされて、来庁者の目を楽しめています。昨年11月19日には一斉にパンジーへと植え替えを行い、冬から春への装いとなりました。



1月21日、有斐斎弘道館で「上京区民ふれあい文化大学」が行われました。参加者は、濱崎加奈子館長によるお話を聴きながらお菓子とお茶を楽しみ、弘道館の歴史と京都の幅広く深い伝統文化の真髄を学びました。

第52回上京薪能が昨年9月21日に開催されました。台風が接近しあいにくの雨となったため、二年連続で金剛能楽堂での上演となりましたが、ほぼ満席の来場者が幽玄の世界に魅了されました。



上京茶会

秋の「上京茶会」が昨年11月13日、北野天満宮明月舎において裏千家の懸釜により開催されました。秋の茶会としては5年ぶりに好天に恵まれ、多くの方が会場を訪れ、色づき始めた庭の紅葉を愛でつつ、一服を楽しまれていました。



昨年12月17日、区総合庁舎で、落語家の桂米紫氏を講師に「講演のつどい」が行われました。「楽しみの伝え方」をテーマに相手に自分の気持ちを伝える話し方のコツについてお話をされるとともに、落語を一席披露していただき、笑いの絶えない講演会になりました。



2017年3月1日(水)より営業を再開いたします。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



ホテル ルビノ京都堀川

〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町3-7 Phone:075(432)6161
京都御所給御門徒歩8分

「上京・史蹟と文化」は上京区役所地域力推進室まちづくり推進担当で販売致しております。(TEL441-5040)
また、上京区役所のホームページで御覧いただけます。

鑑定書不要!

ダイヤモンド&宝石各種、絶賛高価買取中!

宝石・貴金属の鑑定は、**FGA (英国宝石学協会)**
認定資格者が行いますので鑑定書は不要です。

宝飾・時計

ブランドバッグ

美術品・書画・骨董

YOROZUYA 四条店

ドライブスルー質屋 加藤商店グループ

(株)よろず屋 四条店 『楽天市場』にも出店中

京都市中京区東洞院通四條上ル「大丸京都店」北隣

TEL.075-241-7900

◎営業時間/買取 10:00→19:30

販売 11:00→19:30

年中
無休

〈本店〉創業70年

京都市上京区烏丸通今出川下ル(地下鉄今出川駅すぐ)

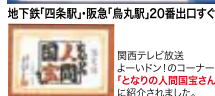
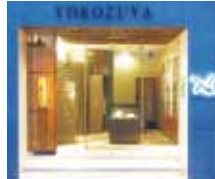
☎ 0120-25-0700

◎営業時間/11:00→19:00(土曜日は18:00迄)

◎定休日/日・祝 ◎駐車場10台完備

京都 よろず屋 検索

京都 加藤商店 検索



酢一筋の商い、伝統の滋味。

きのう 伝統から未来へ
あしたへ

京・西陣 孝太郎の酢

(有)林孝太郎造酢

京都市上京区新町寺ノ内上ル東入道正町455

TEL (075) 451-2071

FAX (075) 451-8028



- 神学部
- 文学部
- 社会学部
- 法学部
- 経済学部
- 商学部
- 政策学部
- 文化情報学部
- 理工学部
- 生命医科学部
- スポーツ健康科学部
- 心理学部
- グローバル・コミュニケーション学部
- グローバル地域文化学部



Doshisha University
同志社大学
http://www.doshisha.ac.jp/

お問合せ先 同志社大学 広報部 広報課 TEL:(075)251-3120



創立以来八十年に
わたって、
和やかな家庭的な
雰囲気包まれつつ
就学前教育の
本流をめざして、
保育を続けて
参りました。
幼児たちは
楽しい遊びを通して、
人生に必要な生きる
力のすべてを手にします。

学校法人 北野幼稚園

京都市上京区御前通一条下る (北野天満宮バス停下車南100m)

TEL.463-0111(代)

http://www.kitano.ed.jp/



名物ゆどうふ
南禅寺 順心 JUNSEI

左京区南禅寺門前 電話 075-761-2311

http://www.to-fu.co.jp



発展、ともに前へ… 洛和会丸太町病院

洛和会ヘルスケアシステム®

京都市中京区七本松丸太町上ル

救急対応

24時間365日

内科・外科救急

内科／呼吸器内科／
消化器内科／心臓内科／
神経内科／外科／
整形外科／形成外科／
皮膚科／泌尿器科／
耳鼻咽喉科／麻酔科／
リハビリテーション科／
内分泌糖尿病内科／救急科

耳鼻科救急

月～金

午後7時～

午後11時

救急・急患には24時間体制で対応しています。

洛和会丸太町病院へのお問い合わせは **TEL 075(801)0351(代)**



M
MALEBRANCHE
京都 北山

洋菓子

マールブランシュ 京都 北山本店

〒603-8053 京都市北区北山通植物園北門前

TEL (075)722-3399・FAX (075)702-9440

9:00AM-8:00PM 年中無休(喫茶10:00AM-8:00PM)

www.malebranche.co.jp

ご注文専用
フリーダイヤル

0120-139-399

受付時間 9:00～18:00 [日曜日定休]

京都御所近くの運送屋です。

\こんな運べますか?/

いつでもご相談お待ちしております。

引越サービス

重要書類の安全なリサイクル処分

ダイレクトメール(DM)・メール便配達

旅行カバン・手荷物配送

固定先ルート配送・トラックチャーター 他



株式会社デリバリーサービス

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上る大文字町 238

TEL 075-211-6541 FAX 075-211-6875

<http://www.delivery-service.jp>